

## 調査名 炭小屋裏の樹木調査

調査場所 横浜自然観察の森 炭小屋裏

調査日 2021年6月11日 2021年6月26日 2021年7月17日

### 調査目的

炭小屋裏のスギ・ヒノキの人工林を針広混交林化する目的で、間伐除伐を進めている。すでに調査済みの第1、2区画に続き、未調査であった谷側エリア(第3、4区画)について今回調査した。(図1参照)

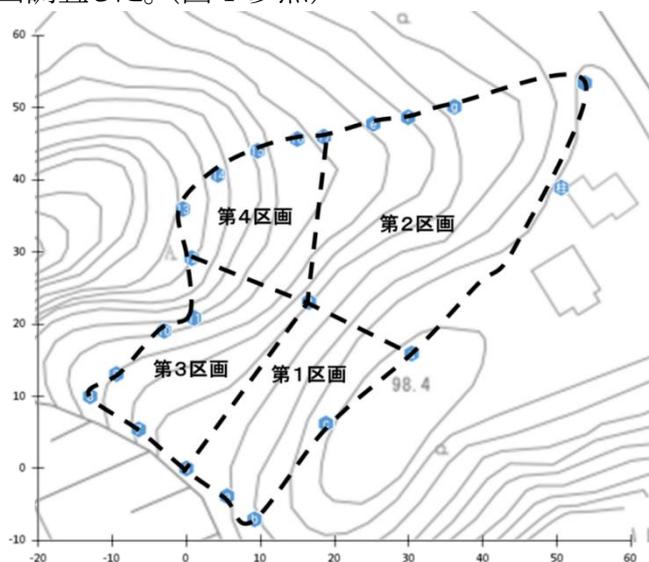


図1 炭小屋裏炭小屋裏管理区画概要

### 調査方法

最初に、基準木を設定し、そこからスケールにより樹木の位置と樹種名、胸高直径などを記録する。調査対象は原則として、胸高直径2cm以上を調査した。

### 調査結果

調査した結果、針葉樹について、第3区画はヒノキ38本スギなし、その他広葉樹、第4区画はスギ18本、ヒノキなしであった。詳細は別表(添付資料)のとおりである。表には、観測された主な樹木を、以前調査した第1、第2区画と合わせて示す。第1区画の調査は2015年2月4日、第2区画の調査は2018年8月1日である。

<表 2：各区画ごとの主な樹木植生本数>

樹木名	第1区画	第2区画	第3区画	第4区画
ヒノキ	44	23	38	
シロダモ	20	37	9	2
スギ		42		18
ムラサキシキブ	22	19	11	
ヒサカキ	23	8	3	
イヌビワ	11	6	1	1
ムクノキ	6	7	3	2
コクサギ	4	13		1
ヤブムラサキ	4	5	2	
ヤマアジサイ	2	6		1
ネズミモチ	2	5	2	
ミツバアケビ		5		
ハナイカダ	2	3		
ムク		4		
トウネズミモチ	2	1	1	
スダジイ	1	3		
エゴノキ		3	1	
イヌガヤ	2	1	1	
ヤマグワ	1	1		1
マルバウツギ	1	2		
ヒメコウゾ	2	1		
キブシ		3		
カンアオイ		3		

図2にスギ・ヒノキの植生分布をしめす。ヒノキは管理区域内南側に多く分布しており、スギは比較的北側に分布している。今回第3、4区画を調査することにより、管理区域全体のスギ・ヒノキの分布の粗密が明らかになった。これにより、炭小屋裏領域の針広混交林化へ向けた、より効果的な伐採計画が立案推進できるようになった。

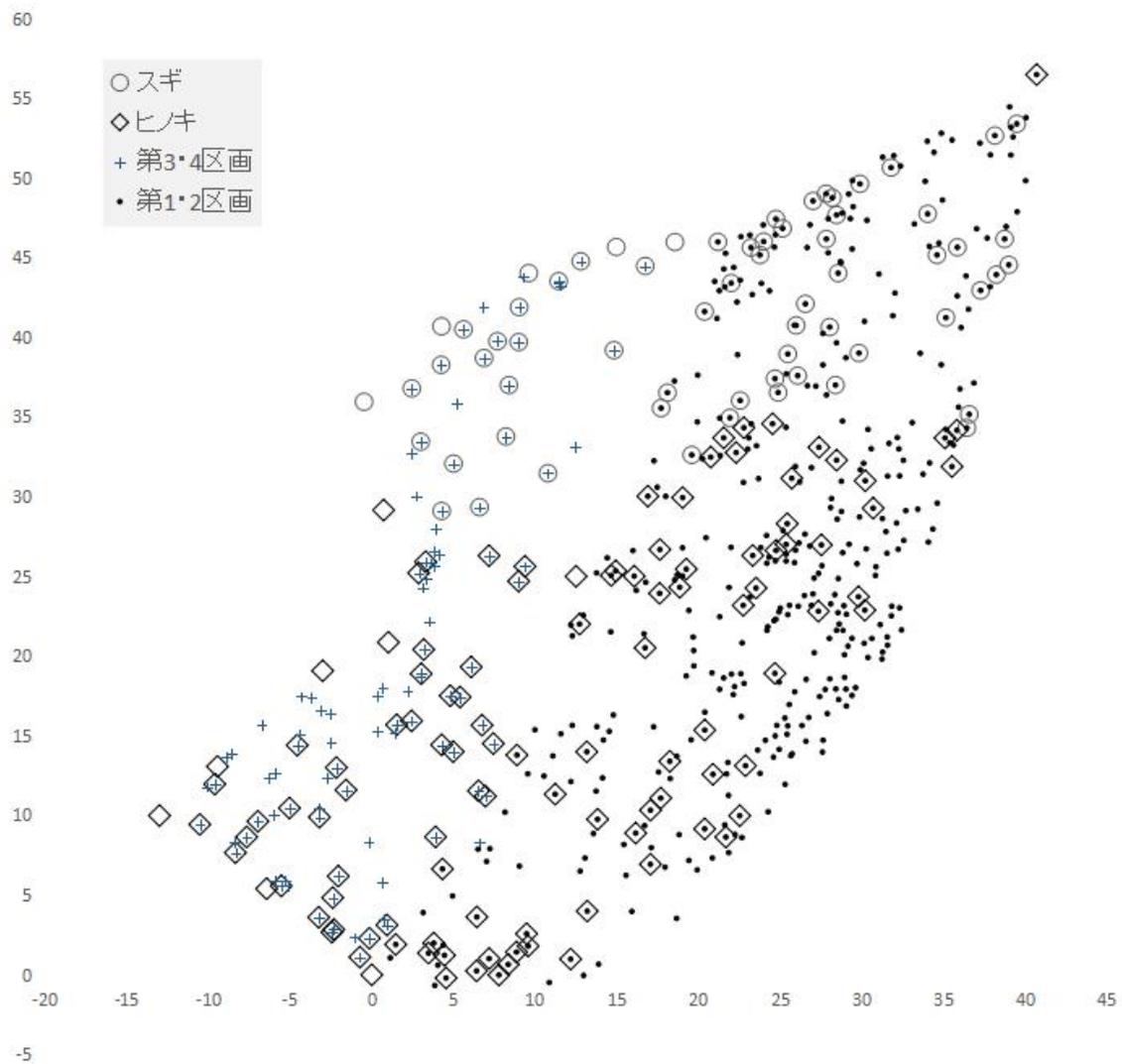


図2 スギ・ヒノキの植生分布

注) 本記載の樹木調査に関わる原稿、詳細データ(各種計測・計量メモ等)は別途、雑木林ファンクラブに保管しております。 閲覧ご希望の方はお申し出下さい。